

2017(平成 29)年度 第 1 回 千葉県支部役員会 議事録

日 時：2017 年 4 月 1 日（土）15：30～18：00

場 所：きぼーる 千葉市ビジネス支援センター15階 会議室 4

1. 幹事出席状況確認（□出席、△欠席・委任状提出、■欠席）

□松井 隆支部長、□秋田義一、□秋元英郎、□今住則之、□江藤政継、△河北慶介、
□川畑真一、△久保康弘、□熊田成人、△桑島英明、□志澤達司、△進藤秀明、□滝沢利
治、□長見 茂、□西田 宏、△花岡善郎、■尾頭 誠、□保坂俊雄、■松本喜義、△水野
正勝、□宮田隆夫、△山下六男、□山本陽一、△和田保久、オブザーバー：△井出光夫
以上、委任状提出者も含め計 22 名（出席 14 名、委任状提出 8 名）の幹事が出席し、支
部役員会は成立。

2. 議事概要（※質問・コメントの方はカッコで表示、敬称略）

・議長（支部長）挨拶

新年度に入った。新しい年度が始まる。ただし、日本技術士会本部では 6 月に総会が
あり、千葉県支部では 7 月に年次大会が開催され、そこから新しい活動となる。

【審議事項】

(1) 役員会議事録の作成について

議事録作成書記は山本幹事、議事録署名人は秋田幹事及び秋元幹事が指名・承認され
た。

(2) 平成 28 年度第 10 回役員会議事録の確認（資料 1-1）

・誤記 1 か所の訂正（5000 千円／講演 → 500 千円）の上、原案通り承認された。

【委員会・チーム活動報告】

(1) 総務委員会（山本委員長）

1) 総務委員会報告（資料 1-2）

①賛助会員への対応、取り扱い

賛助会員に対する特典については、ほぼアイデアが出尽くしたので、「要領」を作成する。

（山本）

会報に賛助会員の紹介記事を載せる件は、広報委員会で検討する。

HP のスペースを賛助会員に提供するのではなくて、会員の承諾を得た上でリンクを張る。

年次大会に招待したときには、招待者に付き添う担当者を決める。

②外部から支援要請が来た時の対応方法

総務委員会と本日の委員長チームリーダー会議で討議した結果を要領案として作成した。

（資料 1-4）

業務管理費について次の意見が出された。

受託金額の 5%かつ千円以上としてはどうか。

顧問契約のような長期間に亘る場合はどうするのか。

名称は事務手数料としたらどうか。

議論の結果、原案の「業務管理費」を「事務手数料」に変えた「要領」で当面運営しながら適宜修正していく。

③財務状況について（資料 1-3）

平成 29 年度の予算が決定した。28 年度と比べると、参加費収入が 25 万円増、その他補助収入が 15 万円増、旅費交通費が 5 万円減となった。なお、28 年度決算は暫定集計結果。財政が逼迫している。総務委員会で出た対策として考えられることは以下のようなものがある。

- ・ CPD の参加費を 2,000 円にする。（参加者が減る恐れがある）
- ・ 交通費を全額ではなく一部支払いとする。（支部の活動が鈍るのではないか）
- ・ CPD 開催数を増やす。（すでに限界に近い）
- ・ 正会員・準会員を増やす。（金額が限られている）
- ・ 賛助会員を増やす。
- ・ 外部から支援要請などが来た時の業務管理費。

役員会で出た意見は、次のとおりである。

- ・ CPD の参加費を交流会込みで 2,000 円にする。（交流会参加の如何に関わらず）
- ・ 交通費の一部支給は難しいのではないか。

また、平成 29 年度からは、「主催組織の CPD 行事企画会議に出席するための担当委員等の交通費」が講演会及び見学会開催費補助対象となるので、企画委員会出席のための交通費は、立替請求の際に明確に表記することとする。

（2）企画委員会（保坂委員長）

①第 45 回 CPD 講演会の報告

②今後の講演会の予定について（資料 1-5）

第 46 回	4 月 15 日	トヨタ式モノづくりセミナー（その 1）
第 47 回	5 月 20 日	新合格者祝賀会、技術者倫理
第 48 回	6 月 10 日	トヨタ式モノづくりセミナー（その 2）
第 49 回	7 月 17 日	年次大会、「地震の前兆現象」

第 47 回 CPD についての詳細説明があった。（資料 1-5 裏面、1-6）

役員は極力 CPD に参加してほしい。そのため、予定はできるだけ早く知らせている。松井支部長はほぼ全てに参加している。第 47 回 CPD については、統括本部から合格者に連絡されている。ただし、具体的な講演内容は伝わっていないと思われる。

（2）広報委員会（川畑委員長）（資料 1-7）

会報第 5 号は完成しているが、担当者が海外旅行中なので来週帰国後にアップロードする。

会報第 6 号は秋に発行予定。執筆者が偏っているので新しい人に投稿をお願いしたい。同報メールのタイトルは内容がよく分かるように付けること。

4月22日の統括本部の新合格者歓迎会には、千葉県支部からは川畑委員長が参加する。他に、志澤幹事がCPD支援委員として、また山本幹事が衛生工学部会幹事として参加予定。

技術者教育支援チームも同報メール、千葉県支部Websiteを活用してほしい。

(3) 活動推進委員会 (江藤委員長) (資料 1-8)

・県庁技術士会より講演の依頼があり、3月8日下記の4名が千葉県支部の紹介、講演を行った。出席者50名弱。

「千葉県支部の紹介」江藤委員長

「水素エネルギー社会」宮田幹事

「経営工学とは、その内容と出会い」志澤幹事

「県支部の理科教育支援活動+官公庁向けSEあれこれ」西田幹事

1) 産学官連携チーム (宮田チームリーダー) (資料 1-9)

千葉工大との産学官連携に際しては幹部の方に根回しをしておくことが必要。過去に当時の千葉工大技術士会会長とトラブルになったことがあるので。

資料の誤記、1か所訂正 (「千葉県技術士会」 → 「千葉県支部」)

2) 技術相談チーム (滝沢チームリーダー) (資料 1-10)

第3回チーム連絡会の報告、相談対応分野のリストを作成した。

東葛テクノプラザでの相談の責任者が交代することを承認した (井出さん→見並勝佳さん)。引き継ぎは済んでいるとの報告があった。

次回の役員会からは、見並さんに案内を出す。

3) 防災支援チーム (江藤チームリーダー) (資料 1-11)

千葉市との防災協定については、統括本部の総務委員会 (4月20日開催予定) での承認待ち。(協定書案は資料 1-12) 千葉県支部として、この協定書案を承認するか採決の結果、賛成13、反対1で承認された。反対者の意見は、第7条には第三者に損害が生じた時に千葉県支部の責任において処理解決に当たる、と書いてあるが、これは本当に大丈夫なのか、疑問である、というもの。防災チームから、第2条で適用範囲が規定されており問題ないとの説明があった。

他には第4条にある体制整備を急ぐ必要があるのではないかという意見が出た。

資料の誤記、1か所訂正 (防災の日講演会の日時「9月3日(土)」 → 「9月2日(土)」)

4) 科学技術・理科支援チーム (西田チームリーダー) (資料 1-13)

資料に沿って、「青少年のための科学の祭典」、「チャレンジ SHIRASE」、「長生高校への講師派遣」などについて説明があった。

3. その他

(1) 財政について、以下の意見が出された。

- ・ CPD 参加費以外の事業収入を模索する。
- ・ CPD のテーマは聴衆を呼べるものを企画すべき。(例、三和シャッターの話)
- ・ ウェザーニューズ社、ファソテック社などに賛助会員になってくれるように勧誘する。

(2) 前回の議事録の確認は、時間を掛けずにさらっと行うべきとの意見が出された。

(3) 今後の役員会の開催予定=5月20日、6月17日、7月上旬(年次大会の下見を兼ねるためホテルの都合を確認後に日時を決定する)、9月9日。

以上

[配付資料]

(資料 1-1) 平成 28 年度 第 10 回支部役員会議事録 (案)

(資料 1-2) 総務委員会議事録 (案)

(資料 1-3) 平成 29 年度予算案 (確定)

(資料 1-4) 千葉県支部業務に関する要領

(資料 1-5) 企画委員会 第 1 回役員会資料

(資料 1-6) 第 47 回 CPD 講演会・合格者祝賀会の開催ご案内

(資料 1-7) 広報委員会活動報告

(資料 1-8) 活動推進委員会報告

(資料 1-9) 産学官連携チーム活動報告

(資料 1-10) 技術相談チーム報告、平成 28 年度第 3 回チーム連絡会

(資料 1-11) 防災支援チーム報告

(資料 1-12) 災害時における応急対策及び災害復興の協力に関する協定書 (案)

(資料 1-13) 科学技術、理科支援チーム活動報告

議事録作成者

山本 陽一

議事録署名人 (署名捺印)

松井 隆

秋田 義一

秋元 英郎

